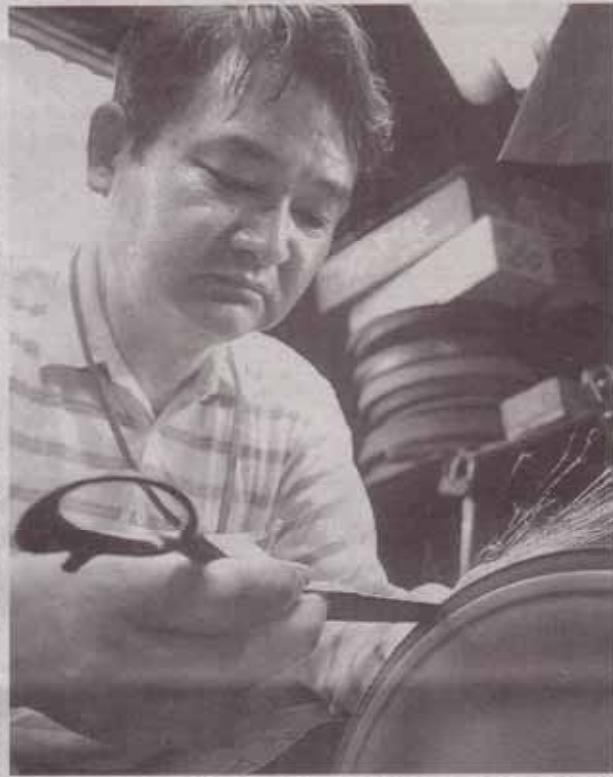


関市神明町、深川 誠さん(56)

刃物研ぎ

## 力加減と集中力要求



「いかに少ない研ぎで、切れ味を出すか」。春日刀物会員会社代表、深川誠さん（関市神明町）は、研磨の技術にこだわりと自信を持つ。持ち手に幾重にも布が巻かれた裁しばさみ、ガラスを切る特殊なハサミ、明治時代の品…。使い手の思いが伝わる刃物を、回転する紙やすりにかける。肉眼では分からぬい裁しばさみの

卷之三

刀の表面のわずかなへこみ。微妙な力加減と集中力が要求される仕事だ。

二十五歳で父親の刃物製造会社を継いた。安い輸入品に押される業界

で、本格的な研磨業務を始めたのは十二年前。ハサミ作りの経験に裏打ちされた繊細な研ぎが評判

され、買い手にも、作り手のたわりを知つてほしい」。（太田朗子）

微妙な力のいれ具合で裁ちほさまの刃を研ぐ深川誠さん＝関市神明町で